

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

2024 年度の事業報告書

2024 年4月1日から2025 年3月31日まで

認定NPO法人accommon

1. 事業の成果

(1)特定非営利活動に係る事業

① 座談会・勉強会事業

□みんなのTSUDOI(座談会)

小グループに分かれて、困りごとや興味のあることについて語り合った。家族、本人、子ども、様々な立場の参加者がいたが、「一息つけた」「気持ちが楽になった」等の声が寄せられ、リフレッシュの場として活用されていた。

□テーマ座談会:感覚グッズ作り(勉強会)

様々な感触の材料を実際に触って好きな感触を見つけ、安心グッズ、ストレス解消グッズを作った。楽しんで作業しながらも、人によって心地よい感触が違うことが実感できる会だった。



座談会の様子



座談会では小グループで語り合う



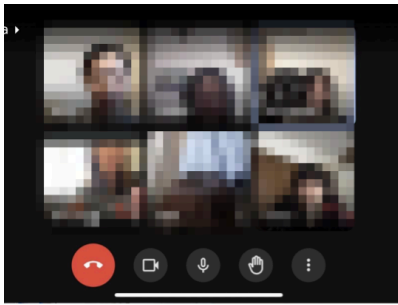
感覚グッズを手作りする様子

□オープンダイアログ(会員・関係者限定オンライン勉強会)

オープンダイアログの手法に倣った対話の場「オープンな対話をやってみよう」をオンラインで試験的に開催した。深く共感できる、自己肯定感が上がる、深掘りできる等、座談会とは異なる効果が得られた。

□ペアレント・トレーニング(勉強会)

母親を対象とする、ABAとペアレント・トレーニングに基づいた講座「お母さんのための子どもを応援する方法(全8回)」を開催した。受講者の子どもがアコモンの他の活動に参加している場合、講師と子どもが触れ合う機会が増え、一段と深いアセスメントが可能となっている。そのため、ロールプレイの課題設定がより具体的になって効果が得やすかったり、保護者が見ている子どもとは異なる一面について知ることができたりと、他に類を見ないタイプのペアレント・トレーニングの場を提供できた。



オンラインでのオープンな対話



ペアトレでのロールプレイング



ペアトレ講座を聴く受講者

□勉強会付帯事業:「学校・園との連携ガイド」販売

平成30年度から継続してきた「学校との連携」についての勉強会・ワークショップの内容をまとめた「学校・園との連携ガイド(2020年 岩手県版)」の販売を引き続き行った。冊子版は完売となった。



② 学習支援事業

□じゆうけんきゅう

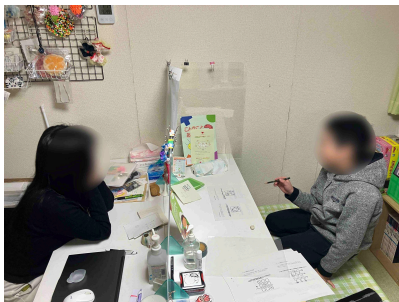
オンラインや居場所を利用して、子どもの興味関心に合わせて個別に学びを深める支援を行った。算数オリンピックの問題を一緒に解いたり、3Dプリンターで歯車やスフェリコンを作成したり、学校では実現が難しいテーマに取り組むことができた。

□居場所等での創作活動・マイクラサーバー、Discord(オンライン)での交流

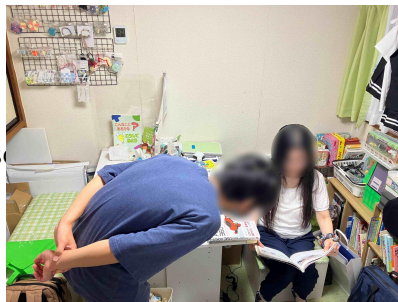
事務所の居場所でレジンや3Dプリンターなどを材料に創作活動をともしに行い、「できた」を実感したり、得意なことを第三者に認められる体験の場を提供した。

子どもも参加するDiscordの会員限定アコモンサーバーや、マイクラサーバーでは、子どもの興味・関心が大事にされる場、安心してコミュニケーションの練習ができる場を作った。Discordの「作品置き場」「マイクラ」「3D&プログラミング」等の各々の興味に合わせたチャ

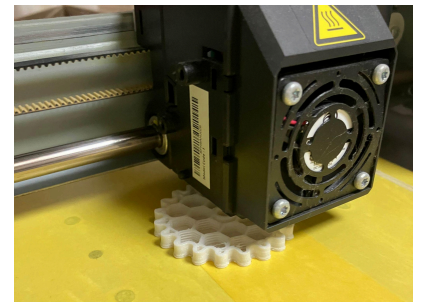
ンネルで、作ったものを見せ合い、交流する様子が見られた。マイクラサーバーでは、みんなが楽しく一緒に遊ぶためのルールを話し合ったり、より良いコミュニケーションの方法についてアドバイスをもらったり、ゲームを介して子どもが成長する様子が散見された。



じゅうけんきゅうで問題を一緒に解く



3DCADソフトについて話す様子



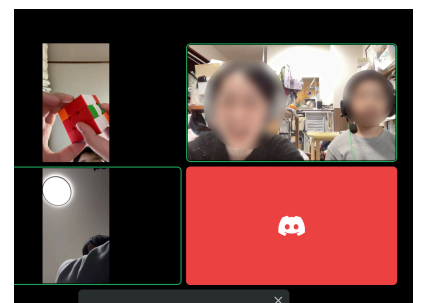
歯車を印刷する3Dプリンター



居場所でのレジン制作



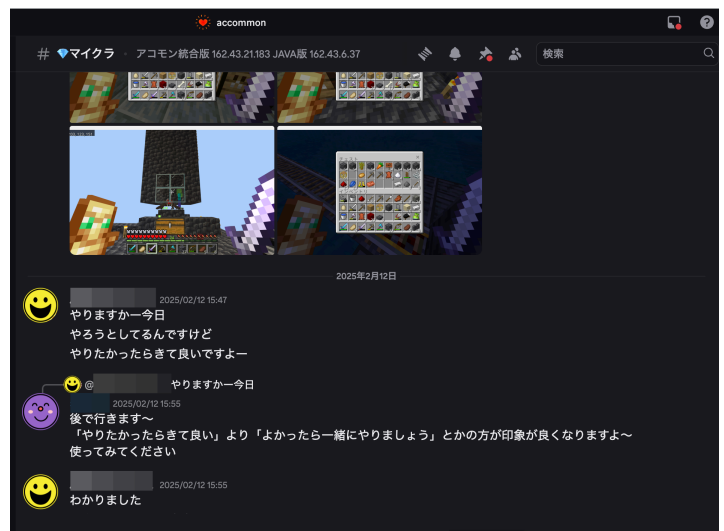
子どもが制作したレジン作品
Discordで作品をお披露目



Discordのボイスチャットルームで好きなものを見せ合う様子



Discordでルールについて話す様子



Discordでコミュニケーションを具体的に学ぶ様子

□学習支援事業付帯事業：ガイドブックの販売

NPO法人Hahato・co盛岡支部の時に作成したガイドブック「こんなことあるかな？こうしてみよう！」を寄付金付きグッズとして引き続き販売した。

□学習支援事業付帯事業：作品の販売

ホームページや事務所の一画で、子どもたちの作品販売を行った。また、賛助会員の新規申し込みや更新の際にも、子どもたちの作品をお礼の品として送付した。

□キャリア学習

2019年度から継続して、働くことを具体的にイメージしにくい子どもが、「職業」、「大人になること」そして「進路」について考えられるようなキャリア学習会・体験会を開催している。

7月には三浦よしおデザイン事務所のよし☆ヲ先生を講師に招き、イラスト講座「推しに色を塗ろう！」を開催した。講座のチケットはすぐに完売するほど大人気で、参加者14名のうち13名が回答したアンケートでは100%の子が「楽しかった」を選んだ。「次回も参加したい」子も100%となり、非常に満足度の高い講座となった。



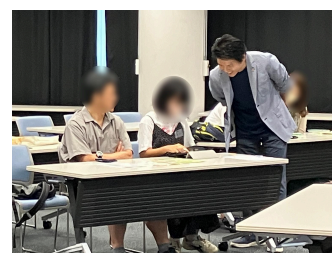
イラスト講座チラシ



色の塗り方を説明するよし☆ヲ先生



イラストを描く子どもたち



先生から個別にコメント

<参加者の感想(抜粋):イラスト>

- ・髪の毛の質感が今回の講座でより現実らしくなった。もう教えることないと言われて嬉しかった。できればまた参加したい。
- ・今日はとても楽しかった。
- ・もっと上手になりたい
- ・よし☆ヲ先生が教えてくれてうれしかった。
- ・初めて参加したが、貴重な体験だった。私も楽しかったし参考になった。これを機にイラストを描いてみたい。(保護者)

11月には江南義塾盛岡高等学校と盛岡中央高等学校単位制(通信制過程)の学校見学・説明会を開催した。アンケートに回答した子どもの100%が進路の参考になったと回答した一方、半数の子どもは途中までの参加となったため、さらに負担を軽くする工夫が必要であることも明らかとなった。

<参加者の感想(抜粋):高校めぐり>

- ・パンフレットではわからない学校ごとの雰囲気があった
- ・入試情報、入学後のサポートなどの話を聞くことができた
- ・現在が全く焦らなくてよい状況だとわかり、心の余裕ができた
- ・アコモンさん作成資料がわかりやすく、こんなに選択肢があるのだと心に余裕ができた



カードゲーム「レシピ」



switchでマインクラフト



ポケモンカードで対戦

□盛岡YMCAサポートプログラム

盛岡YMCA様が提供する発達障がいのある子どもたち向けの体験活動(サポートプログラム)において、アコモンは子どもたちの特性や接し方を共有したり、参加時にフィードバックを行ったりといった形で協力している。ボランティアリーダーと子どもが1対1でバディを組むスタイルのため、それぞれの子どもに合った活動ができることが大きな特徴である。そして、それによって子どもたちが感じる安心感はとても大きい。サポートプログラムが「安心して活動できる場所」「参加すればリーダーたちと楽しく過ごせる場所」であると感じる子どもたちが着実に増えてきている。

チャリティーランにはランナーとしてのチーム参加だけでなく、バザーへも参加した。バザー販売のための作品や販売品を作ったり、値札のデザインをしたり、店番をしたりと、「走る」こと以外でも子どもたちは自分の得意なことで貢献することができた。



ナンを作ろう



リーダーと一緒に遊ぼう(水泳)



リーダーと一緒に遊ぼう(トランプ)



ゲレンデであそぼう！



チャリティーラン



チャリティーラン バザー

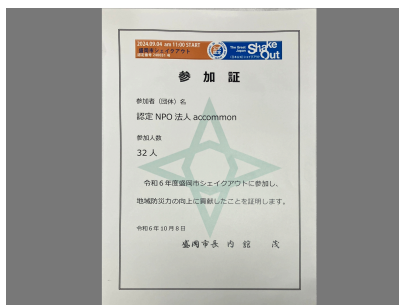
□防災学習

9月のみんなのTSUDOI(座談会)会場にて盛岡市シェイクアウトに参加し、一分間の避難訓練を行った。

10月にはアイーナ様の全面的なご協力のもと「親子で防災体験」イベントを開催した。館内を防災クイズラリーをしながらめぐり、防災士でもあるアイーナスタッフさんの解説を聞いた。また、停電時を想定して部屋を暗くしランタンだけでカードゲームをした他、消火器体験、避難階段を使った避難訓練など、実際に手や体を動かしながら防災体験を行った。



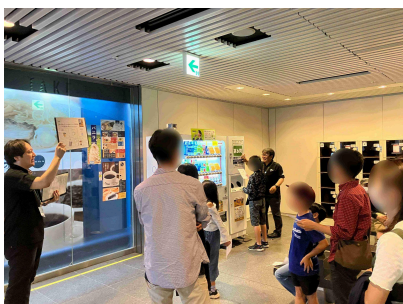
盛岡市シェイクアウトでの避難行動



盛岡市シェイクアウト参加証



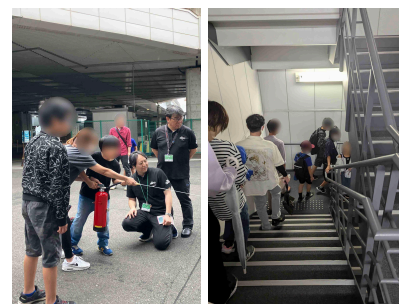
アイーナ防災クイズラリー



県内初！アイーナの防災備蓄自販機



ランタンの灯でカードゲーム



消火器体験&非常階段で避難訓練

④ 機関紙発行事業

広報誌の発行は行うことができなかった。

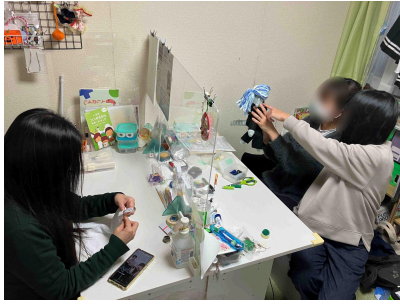
⑤ その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

□全般

ホームページ、活動ブログ、LINE公式アカウント、Facebook、X(旧Twitter)、Instagram等により情報の発信を行った。

□相談・居場所「あいのま」

事務所を利用した相談・居場所の提供を引き続き行った。事務所では、長期休暇や学校をお休みする日に子どもたちの居場所利用があった他、黙々と手を動かして手芸等に没頭することでリラックスできる憩いの居場所として「もくもく手芸部」を月一回程度開催した。



もくもく手芸部で没頭する姿



感覚グッズ作り



復興ぞうきん



水引き飾りを結ぶ

□居場所付帯事業:支援グッズの販売

サポートブックや受診メモなどの支援グッズの販売を行った。

□助成金等の申請

公益財団法人ノエビアグリーン財団による「2023年度 公益財団法人ノエビアグリーン財団 助成事業」に申請し、採択された。

朝日新聞厚生文化事業団による「発達障がい」とともに生きる 豊かな地域生活応援助成 2025に、発達障がいの子の「好き」から始める自立のためのキャリア教育事業(仮)と題し、よしヲ先生のイラスト講座を申請したが、採択されなかった。

公益財団法人SOMPO福祉財団による、2024年度NPO基盤強化資金助成「組織および事業活動の強化資金助成」に「発達障がいなどで困難さのある者とその家族の相談・居場所事業」を申請し、採択され交付を受けた。

□研修等への参加

日時	内容
4月25日(木)	「病態分析から病態解釈へ」(主催:北海道認知リハビリテーション研究会 講師:室蘭太平洋病院 理学療法士 小郷 健介氏)にスタッフが参加(オンライン)した
4月28日(日)	「オンライン運動療育における動作分析のポイント②」(主催:PAPAMO株式会社 講師:PAPAMO株式会社 理学療法士 後藤 颯人氏 堂本 勝哉氏)にスタッフが参加(オンライン)した
5月11日(土)～ 5月12日(日)	SST初級研修会(主催:SST普及協会北東北支部)にスタッフ、会員が参加した

5月12日(日)	「岩手重症心身障害児(者)を守る会 研修会」(1)重症心身障害児(者)のための衣生活の向上を考えたファッションショー(2)重症心身障害児(者)の未来への想い(主催:岩手重症心身障害児(者)を守る会 講師:(2)岩手県療育センター所長 亀井 淳氏)にスタッフが参加した
5月17日(金)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・SST普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、会員が参加した
5月23日(木)	「認知問題と訓練の組み立て方～空間課題と接触問題～」(主催:北海道認知リハビリテーション研究会 講師:函館陵北病院 理学療法士 菅原 紘子氏)にスタッフが参加(オンライン)した
5月30日(木)	「5領域を踏まえた支援プログラムとは?」(主催:「療育のミカタ」事務局 合同会社テラセル 講師:NPO法人 日本幼児協会振興会・指導主任 奥本 あすか氏 合同会社テラセル 豊島 孝敏氏)にスタッフが参加(オンライン)した
6月16日(日)	第23回全国LD親の会公開フォーラム「生涯にわたっての支援をつなぐ」(1)青年期以降をどう生きるか、そして見守り支えるか～本人と家族の想いを考える～(2)発達障害施策の最近の動向(3)地域を支えるために (4)2010年からのチャレンジ、発達障害を持つ子どもたちの幸せへの道すじ 主催:特定非営利活動法人全国LD親の会 講師:(1)こころとそだちのクリニックむすびめ 院長・北海道大学名誉教授 田中 康雄氏(2)厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部 障害福祉課 地域生活・発達障害者支援室 発達障害対策専門官 西尾 大輔氏(3)札幌学院大学心理学部教授 山本 彩氏(4)NPO法人北海道学習障害児・者親の会クローバー理事長 永瀬 次郎氏)にスタッフが参加(オンライン)した
6月30日(日)	「集まれ! アイライン2024」(1)基調講演「障がい者の災害対策」～岩手日報社の障がい者アンケートより～(2)シンポジウム「災害対策を考える」～自分にできる準備を始めよう～(主催:岩手重症心身障害児(者)を守る会 講師:岩手日報社文化部次長 阿部 友衣子氏)にスタッフが参加した
7月6日(土)	ペアレントメンター養成講座 I 期(JDDnetいわて)にスタッフ、会員が参加した
7月20日(土)～	「第29回SST全国経験交流ワークショップin北東北」(主催:一般

21日(日)	社団法人SST普及協会)に、スタッフ、会員が参加した
7月27日(土)	「生きるABAを伝えます～しないようにという大人は、自分と相手に我慢を強いる～」(主催:office瑠璃 講師:認定行動分析士 藤原 水奈氏)に、スタッフ、会員が参加した
9月15日(日)～ 16日(祝・月)	SST初級研修会(主催:みらい福祉)に会員が参加した
9月30日(月)	令和6年度岩手県社会福祉研修 特定課題「コーチング研修」(主催:岩手県立大学)に会員が参加した
10月19日(土)	「協同労働推進フォーラムinいわて～あらゆる地域課題に応えるために～」(主催:労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団 日本労働者協同組合ワーカーズコープ連合会 一般社団法人 日本社会連帯機構 基調講演:日本労働者協同組合[ワーカーズコープ]連合会 理事長 古村伸宏氏)に、スタッフ、会員が参加した
11月30日(土)	盛岡市乳幼児総合診査事業(もりっこ健診)40周年記念講演会「発達が気になる子の支援者の関わり方及び親支援の充実」(主催:盛岡市 盛岡市乳幼児総合診査運営委員会) にスタッフが参加した
12月3日(火)	「NPO組織マネジメント力強化セミナー」(主催:岩手県 企画運営:いわてNPO中間支援ネットワーク)にスタッフが参加した
12月3日(火)	NPO運営基盤強化セミナー「寄附募集のススメ～多様な財源から寄附に着目し、戦略を考えよう～」(主催:NPO活動交流センター 講師:一般社団法人日本カーシェアリング協会 事業部長 石渡 賢大氏)にスタッフが参加した
12月21日(土)	令和6年度テーマ別保護者対象トークサロン「ウィズ・ユー:障がい告知と子どもたちの自己理解に向けて」(主催:岩手県発達障がい者支援センターウィズ 講師:長葭 康紀氏)に、スタッフが参加した
12月21日(土)	ペアレントメンター養成講座(ブラッシュアップ講座)(主催:JDDnet[日本発達障害ネットワーク]いわて)に、スタッフ、会員が参加した

1月29日(水)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・ SST普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフ、会員が参加し た
3月5日(水)	「誰でも参加できるSST」(主催:岩手県立大学[アイーナ事業] 講師:岩手県立大学 看護学部精神看護学教育研究分野 准教授・ SST普及協会認定講師:佐藤 史教氏)に、スタッフ、会員が参加し た
3月7日(金)	特別支援教育セミナー「障害のある子供とその保護者を支える 「医療・福祉・教育の連携」-“盛岡市の資源情報”や“支援ファイル” の活用の方途を探究する円卓会議-にスタッフが参加した
3月25日(火)	岩手における遺贈寄付の可能性を考える(いわて連携復興セン ター)にスタッフが参加した

□活動の展示・メディア等掲載

活動の展示は行わなかった。

メディア等への掲載はなかった。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
座談会事業 ■みんなのTSUDOI	集団活動が苦手な子どもの家族や本人を対象とした、悩みや情報を共有するための座談会を開催した。	5/8 7/10 9/4 1/15 3/5	アイーナ オンライン	4	盛岡市、滝沢市、花巻市の保護者や本人、子ども 延べ41名	2134
座談会事業 ■テーマ座談会	感覚グッズを作ったり試したりしながらコーピングについて話すテーマ座談会を開催した。	11/27	アイーナ	4	盛岡市内の保護者 延べ5名	
勉強会事業 ■オープンな対話をやってみよう	オープンダイアログの手法に倣い、傾聴とオープンな対話を目指す会員・関係者に限定したオンラインの勉強会を開催した。	4月 4,11,18 5月 2,9,18, 26,30 6月 6,13, 20,27 7月 7,18	オンライン	3	盛岡市、滝沢市、一関市、矢巾町の保護者や本人、子ども 延べ71名	
勉強会事業 ■お母さんのための子どもを応援する方法	精研式のペアレント・トレーニングをABA(応用行動分析)の技術で補足し、母親に伝わりやすいように工夫した全8回のプログラムを開催した。	5/8 6/5 7/10 9/4 10/2 10/30 11/27 12/18	アイーナ	2	盛岡近郊の保護者 5名 ※全8回	
勉強会事業 付帯事業 □出版および出版物販売	「学校・園との連携ガイド」を販売した。	随時	事務所等 ホームページ	3	盛岡市、滝沢市の家族、支援者等 延べ3名	

学習支援事業 ■じゅうけんきゅう	子どもの興味を深掘りするマンツーマンの学習支援を行った。	1/22 2/19	事務所・オンライン	1	盛岡市内の親子 延べ 4名	7
学習支援事業 ■書籍やゲームの貸し出し	ボードゲーム・書籍等の貸し出しを行なった。			3	盛岡市近郊の親子 延べ 9組	
学習支援事業まなびのHIROBA付帯事業] □作品の販売 □ガイドブックの販売	居場所等で子どもたちが製作した作品などを販売した。 NPO法人Hahato・co盛岡支部で作成したガイドブック「こんなことあるかな?こうしてみよう!」を販売した。	随時	事務所等 アコモンスストア	3	全国 延べ 12名 延べ 0名	
体験活動事業 ■あそびのHIROBA	集団での活動が苦手な子どもと保護者が、運動や創作など伸び伸びと体験できる会を月一回開催した。 親子エクササイズ&ボードゲーム ボードゲーム/工作 陶芸教室/臨床美術&ボードゲーム	5/19 6/30 11/3 4/14 12/1 1/12 3/2 6/2 8/4 2/2	西部公民館 西部公民館 西部公民館	3 ※スタッフ/ボランティア/講師 延べ 56名	盛岡市、滝沢市、紫波町、一関市等の親子 延べ 132名	379
体験活動事業 ■盛岡YMCAサ	盛岡YMCA様の集団での活動が苦手な子どものための体験活動プログラムに参加した。企画時に協力、参加し			3	会員親子 延べ50名	

ポートプログラム	た際のフィードバックをお伝えしている。 ナンを作ろう リーダーと一緒に遊ぼう(水泳)パート1・2 ゲレンデであそぼう! インターナショナル・チャリティーラン参加	6/9 11/9 12/7 1/19 9/23	外山森林公園 盛岡市立総合プール 安比高原スキー場 岩手県立大学特設コース		
体験活動事業 ■防災学習	盛岡市シェイクアウトに参加した。 アイーナ様のご協力による避難訓練と停電時の安心な過ごし方を体験する「親子で防災体験」をあそびのHIROBA特別企画として開催した。	9/4	各家庭	3	会員家族 32組
機関紙等発行事業	行うことができなかった				
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 ■オンライン居場所	情報発信 居場所(13件) 相談(10件) 助成金申請 研修等への参加 マイクラフトとDiscordを利用したオンライン活動を会員の子どもたち(5歳児から高校生まで)と大人で一緒に行った。	随時 随時	事務所等	4	居場所: 岩手県内の家族や本人、子ども 延べ34名 相談: 岩手県内の家族や本人 延べ10名

助成事業						
学習支援事業 ■キャリア学習	集団活動が苦手な子どもと保護者を対象に、進路や仕事について学び考える活動を行った。			4		377
	イラスト講座「押しに色を塗ろう！」	7/28	アイーナ		盛岡市、紫波町、一関市等の親子延べ26名	
	色んな高校を見てみよう！	10/22	江南義塾盛岡高等学校、盛岡中央高等学校単位制(通信制過程)		盛岡市、滝沢市、紫波町、北上市等の親子延べ22名	

(1) その他の事業

委託事業としてWEBサイトSEO対策等を請け負った。